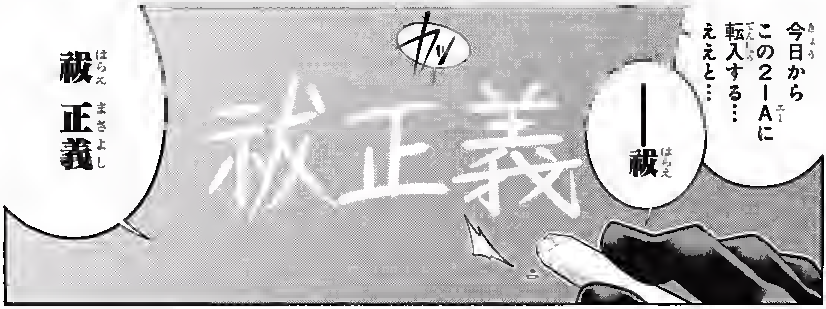
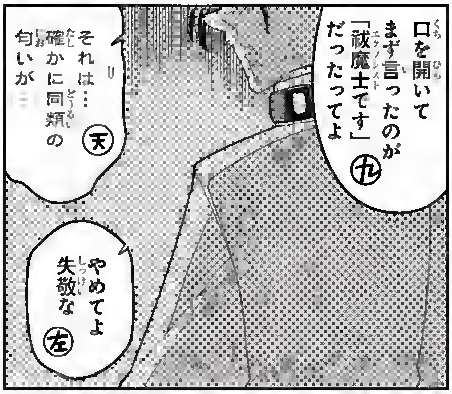
2-A
注目～
皆に転校生を紹介するぞ～
ちょっとカッコよくない？
何で学ラン？
前の学校の制服でしょ

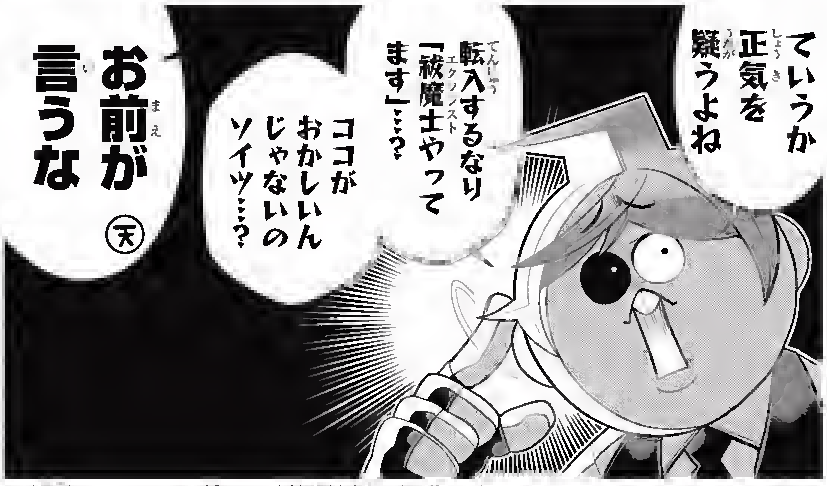

今日からこの2-Aに転入する…
ええと…
―祓
祓正義
祓 正義

☆学園漫画の転校生はだいたい何かある。
祓魔士（エクソシスト）です
悪魔祓いをやっています
左門くんはサモナー
第25話 左門くんは静かに燃える
沼駿

いやなんでも
自己紹介が
左門に似てた
んだと
似てた？

――なぁ
2－Aの
転校生って
左門の
知り合いか？
2－Aに
転校生が
来たこと自体
今知ったよ
何で？


口を開いて
まず言ったのが
「祓魔士です」
だったってよ
九
それは…
確かに同類の
匂いが…
天
やめてよ
失敬な
左


ていうか
正気を
疑うよね
転入するなり
「祓魔士やって
ます」…？
ココが
おかしいん
じゃないの
ソイツ…？
お前が
言うな
天

つーか祓魔士(エクソシスト)って何よ？
人間(にんげん)に憑(つ)いた悪魔(あくま)を退治(たいじ)する人(ひと)じゃなかった？
映画(えいが)とかのイメージだけど
…まぁ大方(おおがた)そんな感(かん)じかな

だったら左門(さもん)の商売敵(しょうばいがたき)じゃねーの大丈夫(だいじょうぶ)かよ
平気平気(へいきへいき)八割方(はちわりかた)エセ霊能者(れいのうしゃ)だろうし
もし本物(ほんもの)でもあんな下(くだ)らない奴(やつ)らどってことない
…え？
じゃ本物の祓魔士(エクソシスト)の知(し)り合(あ)いもいるってこ…
聞(き)き捨(す)てならないことを言(い)う

君のロぶりだと召喚術士とは随分と立派なもののように聞こえるな
ガッ…
エクソシスト
祓魔士
祓 正義
あっコイツだよ転校生
…まあ祓魔士よりはねいきなり誰さキミ
祓正義祓魔士だ今朝転入してきた
そっちは別に名乗らなくていい君のことはよく知っているよ左門召介

何だよ やっぱり 知り合いか？

む？

知らない ってこんな エセ霊能者

そこの女子 悪魔に憑かれ ているな

！

見たところ 長期に渡って 憑かれていた ようだ

スゲーな 本物っぽいぜ

悪魔が 見えてる

…どうせロクな 悪魔の使い方は していないと 思ってはいたが

やはり 召喚術士とは どこまでも 度し難い人種 らしいな…!!

※ヘブライ語以外 分かりませんモード

また 好対照な 人らだな!!

破ァッ!!
カッ!!
!!
グゴゴ…

まぁこのレベルの悪魔なら…
？
ス…

バシィッ!!
!?
ズーやんが…
札を貼った

近づく悪魔はその力に比例したパワーで弾き飛ばされる
もう君に悪魔は近づけない

そう慌てるな
…本当に誰さキミ
召喚術士が何日も通っている学校で即座に戦うほど無知ではない

召喚術士は
卑怯で狡猾だ
学校中の壁や
プリント・貼紙の
類いに魔法陣を
仕込むぐらいは

当然のように
している連中
だからな

…召喚術士に
随分詳しいね
お勉強でも
したの？

ああ
しっかり
とね

したんかい…

先程も
言っただろう
僕は君のことを
よく知っている

恵まれた
環境にいながら
召喚術士などに
成り下がった
君の過去もな

よって僕は君を
倒さねばならないし
その為のノウハウも
当然身につけた

覚悟はしておきたまえ
左門召介

パキキッ…

過去…？

君は僕が必ず倒す——

——それから数日

実際に私を悩ませ続けた悪魔達は私に近づけなくなったらしい

ムニャ

克己

左門くんも正体不明の祓くんへの警戒が最優先のようだ

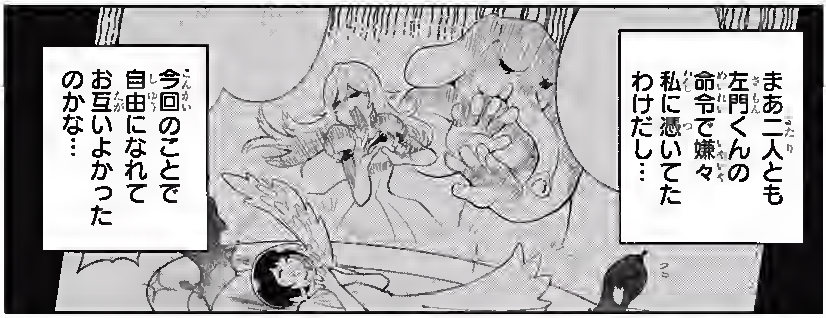
このようにして私の日常から一切の悪魔は消えた

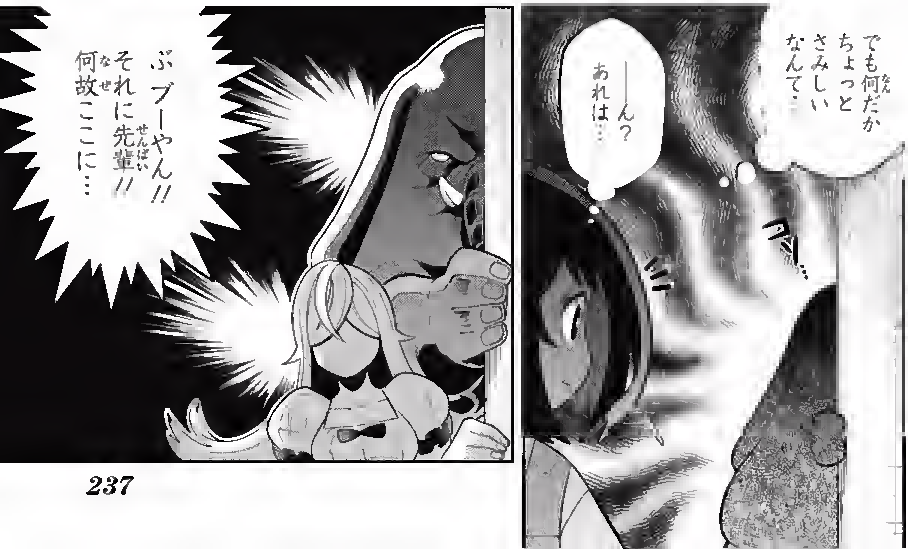
——あっ！おはよう笑美！

おうおはよてっしー

何か最近のてっしー朝遅くね？寝坊？

え…
そうかな
そうじゃなきゃ
ギリギリまで
朝練してる私と
会わねーだろ～
お先～！
ブーやんが
いると寝坊が
怖かったから
むしろ朝が
早かったん
だよな…


まあ二人とも
左門くんの
命令で嫌々
私に憑いてた
わけだし…
今回のことで
自由になれて
お互いよかった
のかな…

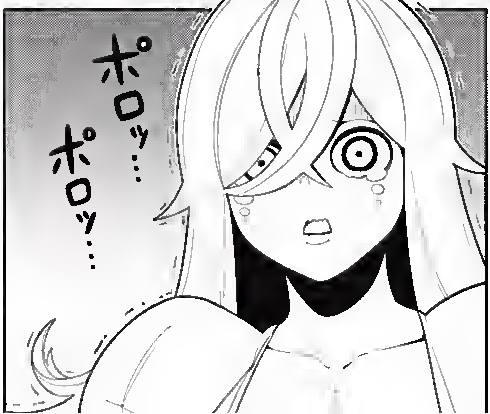

でも何だか
ちょっと
さみしい
なんて…
――ん？
あれは…
ぶブーやん!!
それに先輩!!
何故ここに…

何その目!?

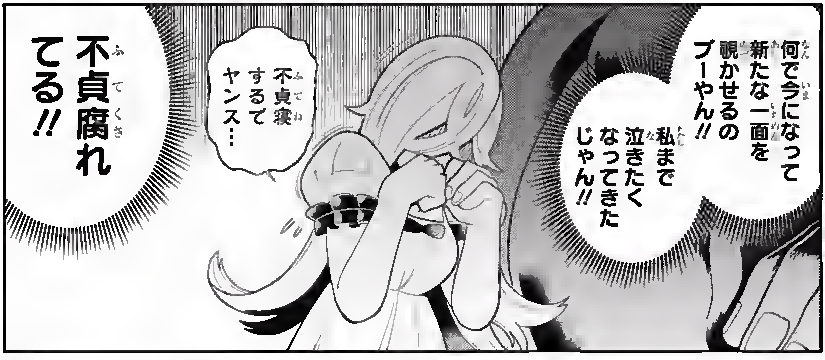
しょんぼり…

何でしょんぼり!?
折鬼左門くんの拘束から自由になったんでしょ!?
二人とももっと自由を謳歌しなよ!!

にこっ…!
わ私のことはもう気にしないでいいんだよー!!


ポロッ…
ポロッ…

うっ…
うっ…
――心が痛むわ!!


何で今になって新たな一面を覗かせるのブーやん!!
私まで泣きたくなってきたじゃん!!
不貞寝するでヤンス…
不貞腐れてる!!

じろっ
あっ左門くん…
いやぁ参ったなぁ!!
ははは…

悪魔の涙と引換えに得た安寧の味はどうだ…？
や…
やめろ

な何さもう！私だって気持ち的に複雑だよ!!
お～い!!
！

待て待てそこ行く二人!!
アンリさん！

また学校に？どうしたんです？
うむ!!前回は感極まって先に一人で帰ってしまったからな
重要な青春イベント「友達と一緒に下校」をやっていなかった!!
下校時間になったらクレープとか…
…クレープを買い食いに行くぞ!!
例によってイメージが貧困 天

待っておれ今そちらに…!?
むむ…?何ぞ奇妙な圧力が…お押し返される…!?
ぐぐっ…
ピ…
クッ…なっ…なにくそ…なっ…な…
な
ピ…
ドゴーン
――何ぞこれェ!!
アンリさーん!!

サッ
なぜ避ける!?

うぅっ…謎の圧力が…
召介…天使ケ原様…
パラパラ…
―ちょっと天使ケ原さん離れて
あそうか!このお札のせいで

※ぼっち歴数億年単位の陰キャラ

温かいもの㊎作ってもらっておきながら!?

祓魔士（エクソシスト）のところへだ

よしきた

校舎裏に呼び出して

何の用かな

この札を剥がしてくれ

貼った術者にしか外せないんだろ

私からもお願いします

なぜ女子まで…
君は悪魔に憑かれて迷惑ではないのか
それはそれです
…理解に苦しむ
まあいい僕の敵は左門の方だ
安い挑発に噛みついてくるとは予想外だが
何がそんなに気に障った？
自分の悪魔をロクに使えないのはそんなに不愉快な――
「何が」だって？

悪魔が泣いた

…悪魔が「友達」か
どうやら君は救いようのない領域まで堕したようだな左門召介

いいだろう
君の言う通り
その札は誰にも
剥がせない

僕を
倒さない
限りはな

へぇ
そう

いいね
簡単で

☆連載開始以来の
マジなやつ来た…!!